広報かわねほんちょう 令和3年4月号

平成30年度 活動の様子

定形外便り

Vol.11

あの人と学校の

「地域活動で元気になる人と自分を出せる子たち」

文：川根高校魅力化コーディネーター
(地域おこし協力隊)
伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方等へのインタビューを交えてご紹介します。

特集「フレイル予防と健康長寿」の１つとして社会参加がありましたが、地域の子どもたちを地域の大人が育てる『地域ふれあいスクール』はまさに子どもたちにだけでなく、講師やボランティアとして関わる地域の方にとっても元気をもらう活動になっていました。

子どもにも大人にも新しい刺激

ちぎり絵講師の上村さん（中央）と、三ツ星スクールコーディネーターの森下さん（右）

10年以上「地域ふれあいスクール」に講師として携わっている上村節子さん（地名区）とコーディネーターの森下升美さん（奥泉区）のお二人に、長く関わり続けられている理由を伺うと、単に子どもが好きというだけでなく、ご自身も元気をもらえる時間になっているからこそなのだと分かりました。

「子どもだけでなく、ボランティアや役場の方など、様々な人と出会い、対話することで自分の世界が広がる。対話を通して、伝えたり考えたりする機会を持ち続けられることが刺激になる」と上村さん。森下さんは「子どもたちの成長スピードはとても速くて、うれしくもあり、うらやましくもある。子どもの成長する様子を直接感じられるのは、参加して続けているからこそ」と語りました。大変さはあっても、マイナスになることは絶対にない。自分たちにはプラスになることしかないと揃って話される姿が印象的でした。

中央小学校の「三ツ星スクール」を訪ねると、無邪気な子どもたちの声が響いていました。学校の授業や地域活動で、小学生と触れ合う機会はありましたが、こんなにも奔放な姿を見るのは初めて。子どもたちは、最近の学校での出来事や流行っているゲームのことなど、何でも聞いてもらおうとお話をしていました！

子どもたちにとっては、学校や家庭では言えないわがままや、普段さらけ出せない自分を、地域の方に受け止めてもらえる時間になっているのだと思いました。

「最初はよそよそしい子どもが徐々に打ち解けてくれて、町でも声をかけてくれるようになったことがとてもうれしい」「子どもたちの無邪気さに大変と思うこともあるけど、活動がない日は寂しくなってしまう」と参加したボランティアの方たちにとっても、この触れ合いが日々の活力につながっているのだと感じました。

伊神花織（いがみ かおり）

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。
本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！

川根高校のインスタグラム

伊神さんが更新
川高生の様子から授業での豆知識まで発信

発行：川根本町　編集：情報政策課 情報政策室　☎0547(56)2232
住所：〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
広報かわねほんちょうは、再生紙を使用しています。

広報かわねほんちょうでは、おたよりなどお待ちしています。町に関すること、広報に関すること、何でも気軽にお寄せください。
FAX(56)2235 役場情報政策課情報政策室までどうぞ

UD FONT by MORISAWA